

委員会報告

第二常任委員会

第二常任委員会に付託されました議案は、予算関係6件、補正予算関係1件、請願1件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成23年度土岐市一般会計予算

質疑 使用料及び手数料の勤労青少年ホーム使用料と働く婦人の家使用料について、施設の趣旨は理解できるが、総費用を考えると使用料が少ない。今後の施設のあり方をどのように考えているのか。

答弁 利用団体の減免を行っているため使用料が伸びない。しかし、利用団体の育成のため活動の場を提供している。公民館機能とは違った特色のある施設なので、利用団体の促進や引き続き魅力ある講座を開講して利用者を増やしていくよう努める。

質疑 使用料及び手数料の総合公園野球場使用料について、電光掲示板を設置してからの使用料金について

答弁 工事は12月から着工するため、利用料は来年度から検討する予定である。他市の条例を参考にして、都市計画課と協議しながら、料金設定したい。

質疑 衛生費寄附金はどのように使う予定か。

答弁 (仮称) エコ文庫として、環境に関連した図書及びDVDを図書館に整備する予定である。

質疑 農林水産業費の有害鳥獣対策の推進について、報奨金はどのように変更があり、また、その根拠について

答弁 23年度は、報奨金単価を1頭3千円から8千円にし、イノシシの頭数を昨年の190頭から300頭へ変更した。根拠については、県下21市が1頭につき8千円から1万円であり、近隣市は8千円であったため、それに合わせ、エサ代も含め1頭8千円とした。

質疑 土木費の土岐市総合公園野球場の電光掲示板について、約1億円もかけて電光掲示板を整備するが、公式試合は電光掲示でなければならぬ規定があるのか。

答弁 規定はないが、総合公園野球場は、高校野球連盟が高校野球の予選などにも使用しており、選手名を板に書いて表示するような掲示板である。社会情勢からみても整備する必要があると考えている。

質疑 教育費の社会科副読本「わたしたちの土岐市」の作成について、地域の愛着心を育むために作成されるが、作成内容について

答弁 小学校3・4年生で活用する副読本と考えており、土岐市を学ぼうというのが主眼である。編集については、市内の小学校の社会科免許を持った教員によって編集委員会を立ち上げ、教員の力で作りたいと考え、副読本は教室保管にし、大事に何度も使っていきたいと考えている。

☆平成23年度土岐市下水道事業特別会計予算

質疑 消費税が3千156万6千円であり、22年度の消費税と比べ、約2千百万円増額した理由について

答弁 消費税は、課税売上高と控除対象仕入額の差し引きで納めているが、平成20年度事業である土岐市浄化センターの改築更新の工事の一部を、21年度に繰越したため、控除対象仕入額が多くなった事で、22年度の消費税が減額した。23年度から通常の状態に戻った事によって、消費税が約3千万円必要となった。

☆平成23年度土岐市交通災害共済特別会計予算

質疑 加入者が一番多くあった時期と来年度の予測とどれくらい違うのか。また、一般会計から繰入れてやるべき事業と考えているのか。

答弁 平成16年度は63・7%の加入率で約4万人の加入者に対し、平成23年

2月末の加入者は1万8千590人であり、半分以上まで落ち込んでいる。事業費を一般会計から繰入れるという事は、市民の税金を使うという事になり、今後増額する場合は廃止の方向も含め検討していく。

☆平成23年度土岐市自動車駐車場事業特別会計予算

質疑 駅前駐輪場の防犯カメラは、どのように設置するのか。

答弁 1階と2階の駐輪場に、各4台ほど防犯カメラの設置を考えている。今後の情勢にもよるが、駅前の管理人室に機械を設置し、長期間の映像を備蓄することも考えている。

☆平成23年度土岐市農業集落排水事業特別会計予算

質疑 公債費の償還が始まったが、今後の見通しについて

答弁 平成23年度は元金約7百50万円、利子約7百80万円と計上した。25年度からは元利合計が2千8万円となり、起債の償還期限は平成49年度である。

☆平成23年度土岐市水道事業会計予算

質疑 老朽管から耐震管に布設替えを行っている事業費が22年度に比べ、約1千百万円減額されているが、23年度の主な内容について

答弁 23年度は、下石第一受水池から



五斗時スマートインターチェンジ (イメージ図)

総合病院向かいの山側までを計画している。施工延長の違いにより、工事費が変動しているため減額となっている。

質疑 水道料金の値下げを検討されたのか。

答弁 耐用年数を超えた老朽管を耐震管に布設替える事業を進めており、今後多額の費用を要することから、値下げすることはできない状況である。

☆平成22年度土岐市一般会計補正予算(6号)

質疑 線越明許費の五斗時P.A.スマートインター関連道路改良工事について、土岐市が行う工事はどこまでか。

答弁 市道認定がされている3本の道路の工事を行うことになるが、ゲートの手前までが市の持分となる。今工事を行っている線越分の市道と、豊田方面に行くゲートまでの市道、可児方面に行くゲートまでの市道、合わせて3本である。

質疑 自主運行バス購入事業について、今回の市民バスの購入で運行台数が増えるのか。

答弁 現在市民バス運行事業者から、2台借りて計4台で運行しているが、1台購入するが運行台数に変更はない。

☆22請願第7号環太平洋戦略的経済連携協定の参加に反対する請願について

意見 この問題は、工業界と農業界が、真二つに分かれており、3ヶ月経過した今でも農業政策など進捗していない状況であり、今後の推移を見守ることも含め、継続審査をしたい。

意見 日本の将来を考えるとTPPに参加する必要がある。ただし、農業政策に対する手厚い支援や制度を早急に構築していただくことを強く願い、参加に反対する請願には賛同できないため、不採択をしたい。

意見 2カ国間で話し合っていけば、日本の事情は分かり合えると思う。TPPに参加する必要があると考え、採択したい。

第一常任委員会

第一常任委員会に付託されました議案は、予算関係7件、補正予算関係2件、条例関係4件、その他の案件1件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成23年度土岐市一般会計予算

質疑 固定資産税の増収を見込んでいるが、新築家屋をどれ位見込んでいますか。

答弁 22年度の新築家屋が260件程度で、前年比40件程度増の見込み。

質疑 電源立地地域対策交付金は、どのような事業に使うことが出来るか。

答弁 公共施設整備事業、地域活性化事業、福祉対策事業等多方面の事業。

質疑 生活保護費補助金について、住まい対策拡充等支援事業補助金の負担割合と受給対象者は。

答弁 住宅手当の対象者は2年以内に離職し、就職意欲があり、住宅を喪失、または喪失のおそれのある、原則として収入の無い方で、市の負担は無い。

質疑 総務費の職員研修について、研修内容で新たな取り組みは。

答弁 毎年同じ研修を画一的に実施するのではなく、上位職と下位職を同時に受講させる研修を新たに取り入れた研修内容を評価し実施している。

質疑 まちづくり活動事業補助金について、補助金の交付方法は。

答弁 申請団体について、補助金交付に該当するか委員会が審査し交付する予定。

質疑 旧公園電子データ化事業はどのような事業か。

答弁 市所有の旧公園が古くなり、破損等があるため、電子化しデータを保存する事業である。

質疑 たじみ陶生苑とかさはら陶生苑の建設負担金は何年度まで負担するか。

答弁 たじみ陶生苑は平成25年度、かさはら陶生苑は平成35年度まで。

質疑 医療扶助が増加傾向にあるが、多受診をどのように考えているか。

答弁 国、支払基金とオンラインで結ばれている生活保護レセプト管理システムにより、多受診、重複受診等分析し生活指導につなげて行きたい。

質疑 保育園の空調設備はどのように整備していくのか。

答弁 平成23年度から3年間で、全保育園、全室空調設備の整備を行う。

質疑 妊婦検診についてHTLV1の抗体検査は含まれているのか。

答弁 初回血液検査時に、HTLV1の抗体検査を検査項目に盛り込んでいる。

質疑 消防費の指令台更新工事について、どのような機器に更新されるのか。

答弁 位置情報通知装置により、即座に通報者の位置を特定することが可能となり、通報から出動まで30秒程度短縮することが出来る。

☆平成23年度土岐市国民健康保険特別会計予算

質疑 基金の繰入で保険料が抑制されているが、何故今回前年比28・6%も繰入を削減したのか。

答弁 中・長期的な制度改正を見据える中で、今後運営が厳しくなることが想定されるので、基金の計画的・適正な繰入運用をする必要があり今回5千万円という額を算出した。

☆平成23年度土岐市介護保険特別会計予算

質疑 介護予防事業の今後の方針について

答弁 介護予防サービスは地域包括支援センター、介護支援事業所との連携で予防プランを提供すると共に、身体機能の向上、口腔機能等の向上に関わる介護予防事業を実施するので参加して下さい。

☆平成23年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計予算

質疑 認定審査委員を公募しないのか。

答弁 審査委員は医師会、福祉関係団

体からの推薦者及び広報で公募している。

☆平成23年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計予算

質疑 すこやか健診と人間ドック事業はどれだけの受診者を予定しているか。

答弁 22年度人間ドック事業は1000人であった。23年度150人とした。

☆平成23年度土岐市病院事業会計予算

質疑 常勤の医師数は減っていないが特定の科の専門医が不足している。その現状と対応は。

答弁 産科、内科の呼吸器の医師が無し。整形外科は1名となっている。現在3つの科の医師を継続的に募集しているが、なかなか補充出来ない現状である。

付帯決議

地方自治体の地域医療を堅持する義務の大きさと厳しい地方財政への負担増の現状を鑑み、地方の公的病院に対する、国策による更なる援助を強く求めながら、議会提出の改革プランに対する提言を含め、新たにプランの見直しを行うとともに、病院経営健全化のために職員一同の奮起を求め

る。

☆平成22年度土岐市一般会計補正予算(第6号)

質疑 男女参画講演会は何を行うのか。

答弁 精神科医の心の病の講演を行う。

質疑 介護基盤緊急整備臨時特例基金事業費補助金のグループホーム建設の補助単価はどのように加算されたか。

答弁 一施設2千625万円の配分基礎単価が3千万円に変更された。

☆平成22年度土岐市介護保険特別会計補正予算(第2号)

質疑 居宅サービス給付費特定入所者介護サービス費の増加による補正であるが、当初予算の見込みは。

答弁 第4期介護保険事業計画における給付量を見込むも、それを上回る需要があった。

☆土岐市非常勤の特別職等の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質疑 同じ審査会に出席しながら報酬額に差をつけるのは何故か。

答弁 審査会の中で、法律的な判断、指導、専門的な意見を求めるため差をつける。

☆土岐市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について

質疑 給食センターにおいて不測の事態が起き民間で配膳が出来なくなった場合、職員が運転し配膳しても手当を支払わないのか。

答弁 特殊勤務手当を支払うことは考えていない。

☆土岐市保育園条例の一部を改正する

質疑 統合後、つるさと保育園の名前を残すことは考えなかったのか。

答弁 曾木保育園とつるさと保育園の統合であり濃南を一つにするということで保護者の方々の意見を聞きながら「のうなん保育園」とした。

☆第五次土岐市総合計画基本構想の改定

質疑 職員の資質向上と市民との協働の理念、定義を明文化しないのか。

答弁 市職員と市民がコミュニケーションを通して情報を共有して話し合っていくうちに、ある一定のものが生まれ来るものが協働であり、明文化されていなくても進めていかなければならないと考えている。

質疑 将来都市像のうち「先端技術」が「みんなの笑顔」に見直されているがどうしてか。

答弁 現状を分析し、方向転換が必要であったため見直した。



のうなん保育園